

【取組内容】Google チャットを活用した研究協議

- 現職教育における研究授業での気付いたことは、その場でチャットに書き込み、共有している。
- 研究協議会を行わず、Chatに書き込まれた内容を基に教科部会で話し合ったり、授業者が気になる書き込みを基に参観者に話を聞きにいたりしている。
 - 記録として残るため、授業者も読み返すことができる。
 - 参加できなかった職員も読み返すことができる。
 - 業後の時間を、有効に使うことができる。

知多中 職員 10月23日 13:34

▲シンキングツールの選び方 本当に効果的なもの、使い方が

◇ 10月23日 13:34

グループ隊形をとっているところと個人で進めているところがあったが、どのような学習ルールがあるのか知りたい。

◇ 10月23日 13:36

共有ツール を活用し考えを、共有しやすい環境をつくられている。

知多中 職員 10月23日 13:37

○生徒がいろいろな考えをもっていて良かった。

▲シンキングツールの活用の仕方として、成果や課題を考える上で視点を与えるとよいかもしれないと感じた。

例えば 人に関わること
エネルギー・資源に関わること
環境に関わること など。

知多中職員 11月22日 10:03

教師が話し合う材料（デザイン）を準備することで、気づいて欲しい工夫に気づきやすくなるし、工夫の良さが伝わりやすい

知多中職員 11月22日 10:04

教師の作品を見て、生徒が「おおー！」と反応していて、興味をもたせられていて、とてもよいと思った。

知多中職員 11月22日 10:05

生徒の聞く姿勢がよい。普段から、先生の説明をきちんと聞く時間を持たせていることがよくわかる。

知多中職員 11月22日 10:05

グループでの話し合い中によいつぶやきをしている生徒に気づき、指名しているところがいい。

知多中職員 11月22日 10:10

ノートのインポート機能がよいと思いました。
生徒たちに確実に教材を提供することができていました。

知多中職員 11月22日 10:20

導入の説明で何をするのが明確なため、生徒が作業する際にスムーズに進んでいてよい。単純な質問に教師が答える時間がないため、期間巡視で生徒に作成途中の作品のアドバイスをすることができていた。